



小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziro Yacht Club

2023年1月号 VOL-295

2023.1.10 発行

今月の内容	ページ
KYC2023年 年頭のご挨拶 (KYC 会長 野村政司)	1
連絡事項 (編集委員)	1
インド洋横断クルージング 5000 マイル (スピリット オブ トウキョウ 佐々木 豊明)	2-4
今後のイベント予定	
1月 KFR : 1月15日(日) レース後、2022年上位艇等表彰・2023年コミティー担当決定	
次回総務委員会 : 1月16日(月) 20:00~ (Zoomによるweb会議)	
定時総会 : 2月16日(木) 19:00~ (Zoomによるweb会議)	

KYC2023年 年頭のご挨拶

KYC 会長 野村 政司

小網代ヨットクラブの皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

KYC 会長職を拝命してからもうすぐで満2年を迎えます。この2年間に振り返ると、新型コロナウイルス感染対策の対応に振り回され、思うようなヨットライフやクラブの皆さんとの交流ができず、悔しい思いを抱えながら過ごしてきたと思っております。そういう閉塞感の中でも、長年の懸念だった老朽化したクラブ棧橋の新規交換が完了したこと、KFRの運営がほぼ通常に近いかたちで出来るようになったこと、そして、諸先輩方より引き継いで運営を続けている「小網代カップレース」が60回目の記念大会として開催できたこと（雑誌 Kazi 1月号に記事が掲載されました）などがあります。これらの活動はいずれも感染防止に配慮し知恵を出し合いながら、小網代という地に根付いた運営ができたからこそ実現できたものです。ご関係・ご担当された方々、そして総務委員会の皆様、クラブ会員の皆様に感謝申し上げます。

しかしコロナ禍が未だ去ったわけではなく、まだまだ用心に越したことはありません、そういう中でも少しずつ以前のよう活動に向けて光が見えはじめたと信じております。本年も健康に、そして充実したヨットライフとご安航をお祈りいたします。

連絡事項

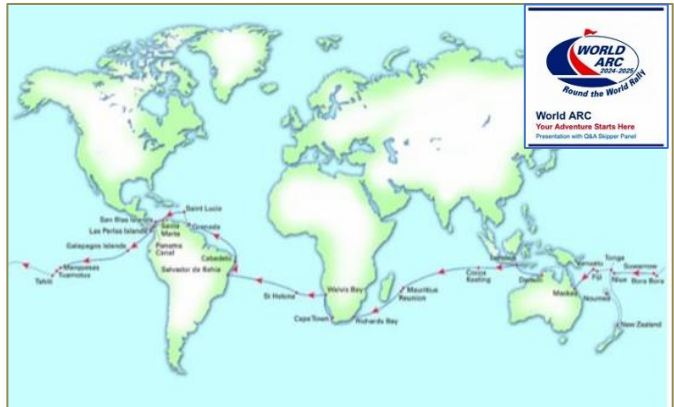
1. KYC 定時総会 2月16日(水) 開催予定 (Web会議)

オーナー及び艇代表者の方に総会資料を郵送します。今年もオンラインでの開催となります。参加有無のご返信と参加される方は事務局宛にメールをお送りください。

インド洋横断クルージング 5000 マイル

スピリット オブ トウキョウ 佐々木 豊明

World Cruising Club が主催するクルージング・ラリー - World ARC の一部分、ダーウィン (オーストラリア) からセントマーチン島 (カリブ海) までのラリーの中の、(インドネシア) ロンボク島から (南アフリカ) リチャーズ・ベイまでの一部分に参加しました。このラリーは 8 艇、30 名位 (参加船国籍別: イギリス 4 艇・アメリカ 2 艇・オーストラリア 1 艇・日本 1 艇) が参加し、主催者は停泊地の準備、連絡、帆走中の位置等の管理



クルージング・ラリーのコース



乗船したヨット NAKULA (ナクラ)
70ft カタマラン

停泊地でのパーティーや観光などを行ってくれるものでした。通常は 20 艇程度参加しているようですが、コロナ禍であったため艇数は少なかったようです。



インドネシア ロンボク島 Medana Bay Marina の集会場
参加船は同マリーナの桟橋に係留

集合 : 2022年9月11日 ロンボク島 Medana Bay Marina に集合

- ARCによるチャーターバスで島内観光 (30名位参加)
- ARCによるチャーターバスで買い出し (15名位参加)
- ARC主催のバーベキューパーティー開催 (30名位参加)

9月18日 インド洋上のクリスマス島に向け出発
625マイル 南東の風20~30ノット追手
メイン3ポイントリーフ ジブファーラーにて調整

9月22日 クリスマス島 到着
テリトリー・デイ・パーク・ルックアウト前の湾のブイにムアリング
ARCによるチャーターバスで島内観光 (30名位参加)
ARCによるバーベキューの開催 (30名位参加)

9月25日 コスケーリングに向け出発 NAKULA
525マイル 南東の風20~35ノット追手 南東の風20ノット強
追手メイン2ポイントリーフ ジブファーラーにて調整



クリスマス島にムアリング中の NAKULA (右端)

- 9月28日 コスキーリング 到着 Direction Island 前にアンカリング
コスキーリングは風が強いのと、整備があるため Direction Island にしか上陸できなかった。この島は、シュノーケリングやテントを張って遊ぶ家族が来ているくらいで、ほぼ無人島。
NAKULA 主催でお好み焼きパーティー開催 (30名位出席 (船内))
ARC 主催でバーベキュー開催 (30名位参加)



コスキーリング



船上でのお好み焼きパーティー



ホテル、カジノもあるモーリシャス

- 10月2日 モーリシャス島に向け出発
2350マイル 南東の風20ノット~35ノット 最大40ノット追手
メイン3ポイントリーフ ジブファーラーにて調整
13日14日15日は風が無くメインセールを降し、ジブファーラーにて調整及び機帆走
- 10月15日 モーリシャス島 到着 ポート・ルイスに接岸
ARCのチャーターバスにて島内観光 (30名位)
ARCの主催でパーティー参加 2回 (30名位)
- 10月25日 Re Union に向け出発
130マイル 風が無くメインを降し、
ジブファーラーにて調整及び機帆走
- 10月26日 Re Union 到着 バッサン・アベニュー・バルボに接岸
ARCのチャーターバスにて島内観光 (火山シェルター内) (30名位)
ARCの主催でパーティー参加 3回 (30名位)
- 11月2日 リチャーズ・ベイに向け出発
1370マイル 南東の風15ノット~20ノット
メイン1ポイント ジブファーラーにて調整一部機帆走
17日 15m位のクジラ2頭に接触。
- 11月11日 リチャーズ・ベイ 到着
(南アフリカ) ズールランドヨットクラブの桟橋に係留
ARCのチャーターバスにてサファリ観光 (30名位)
有償観光 カバ観光 チャーターバス2台 (30名位)
ダウンタウン観光チャータータクシー (4名)
ARC主催にてバーベキューパーティー開催 3回

■11月15日 NAKULAは、ここでARC参加を一時中断する。ケープタウンにて1月5日から再度ARCに参加する。

- 11月26日 イースト・ロンドンに向け出発
200マイル 北東の風5ノット~15ノット メイン2ポイント ジブファーラーにて調整
一部機帆走 海流10ノット以上の場所がかなり長くあった。
- 11月28日 イースト・ロンドン 到着 バファロー・リバー・ヨットクラブの棧橋に係留
クラブのバーベキューパーティーに参加 個人負担 (20名位)
クラブの夜になると開かれるバーでサッカーワールドカップ日本-スペイン戦応援。(10名位)
- 12月2日 イースト・ロンドンで下船
ケープタウン経由にて12月7日帰国

<このクルージングでの感想>

世界は広く、海の仲間は優しい、言葉が少々わからなくても、すぐ友達になれる。世界を廻るヨットのメンバーに女性が多いことに感動した。海はインド洋も太平洋も同じで、潮においも風の感触も変わらなかったが、一定方向から10日間も20ノットから30ノットで吹かれるのは、初めての体験だった。島はどこも美しく、この世のものとは思われないほどで、写真では表せない匂いと風の柔らかさがあった。火山観光も伊豆大島のイメージで臨んだがスケールも環境も大きく、自然のままを見ることができた。南アフリカのリチャーズ・ベイが近くなったときは、ここからアフリカ大陸がつながっているのだと思う感激と、5000マイルを走破したという達成感で不思議な思いがした。ヨットクラブについては、ロンボク島のヨットハーバーは入り口に守衛がいて、中にホテル、レストラン、修理ヤードもありシャワー付きで豊かで大きな敷地を保有するクラブであった。モーリシャスは大きなホテルやカジノ、レストラン、ショッピングモールが多数ある場所で警備員が24時間監視、シャワー付きであった。リチャーズ・ベイも入り口に守衛がいるが、今回のヨットクラブの中で一番居心地がよくヨットクラブとはこのような所の事を言うのかなと思いました。事務所には9時から16時まで人がいて、レストラン、バーベキューの設備、有料で週2~3回イベントがあり、毎週ディンギーレースもあり、子供も遊びに来ている自然豊かな敷地を保有するクラブで、シャワーは24時間使用可能だったが昼間はよく停電していた。イースト・ロンドンも入り口に守衛がいて棧橋は1つ、施設はなくシャワーだけはあった。



リチャーズ・ベイ
今回立ち寄ったヨットクラブの中で自然豊かな敷地を
保有し、一番居心地のよいクラブでした。



クリスマス島内観光チャーターバスと筆者